

令和5年度 学校評価報告書

学校教育の努力点（主題）	『人とかかわる力を育む ～一人一人の良さを大切にして～』	I・IV
--------------	---------------------------------	------

1 実践のねらい

それぞれの幼児が自分の良さに気付き、生き生きと自信をもって過ごしてほしいと願う。そして周りの幼児と互いに良さを認め合いながら、一緒に過ごすことを楽しみ、かかわりを深めてほしい。そのためには、どのような環境の構成や教師の援助が必要なのかを探っていきたい。

2 実践のねらいに迫るための手立て

- 日々の記録や研究保育、事例研究などから、幼児の言葉にならない思い、行動の奥にある一人一人の思いを読み取る。
- 教師間で話し合う中で、幼児一人一人の良さをいろいろな角度からとらえ、幼児が自分の良さに気付いて安心して過ごしたり、周りの幼児に伝わったりして友達と関わる楽しさが感じられるための教師の援助や環境を考える。
- 努力点への取り組みや幼児の経験、育ちを、月のたよりや保護者会、ホームページ等で保護者や地域の方に発信し、幼稚園教育への理解が深まるようにする。

3 実践の内容

- 保育後の話し合いや事例研究で、幼児一人一人の良さを色々な角度からとらえ、教師で幼児の内面や育ちを読み取り、援助について考えた。
- 園日より、ホームページ、保護者会、学級懇談会、評議員会等で、幼児の姿や育ちを分かりやすく保護者や地域の方に発信し、幼稚園教育への理解が深まるようにした。

4 成果と課題

保護者アンケートでは「楽しく登園している」「先生は子どもの良いところをみてくれている」との評価をもらった。しかし、園のことをもっと知りたいという意見や、安全・安心な保育のためには教師の数がもっと増えるとよいという意見もあった。

保護者に園生活や成長、園の考えを具体的に伝えることができるよう改善し、安心安全な保育のためにできることを取り入れていきたい。

学校関係者評価委員からは、「公立幼稚園の一人一人に寄り添い、合わせた教育はとても良い。子どもの育ちが全然違う」「実践する幼児期の豊かな生活や教育方針を、これからもずっと継承し大切にして欲しい」という意見をいただいた。

今後はこれらの課題や評価を踏まえ、より一層成果が上がるよう努めたい。

5 来年度に向けて

一人一人の良さを大切にし、人とかかわる力を育む幼児の育成のために、教師間で共に幼児理解を深め、指導の工夫や環境の見直しをすすめていくようにしたい。また、保護者・地域への幼児教育の理解が進むよう、発信の機会や方法を工夫し、より意識できるようにしたい。